

ボッチャ

競技名「ボッチャ」は、元イタリア語で“ボール”を意味する単語から来ています。赤又は青の皮製ボールを投げ、白色的球（ジャックボール〔目標球〕）にどれだけ近づけられるかを競う競技でパラリンピックの公式種目となっています。

場所（屋内）

- 体育館など

人数

- シングルス（1対1）
- ダブルス（2対2）
- トリプルス（3対3）

用具

- ボッチャ用ボール
 - （白）ジャックボール 1個
 - （青）6個
 - （赤）6個

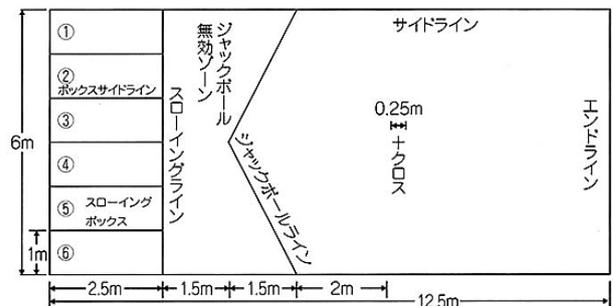


競技方法(主なルール)

- ① ジャンケンで先攻・後攻を決め、先攻サイド(赤)がジャックボール(白)をコートに投げ入れます。
- ② 続けてジャックボールを投げた選手が最初のカラーボールを投げます。
- ③ 次に相手側(青)がカラーボールを投げます。
- ④ 2球目以降は、ジャックボールより遠い距離にあるカラーボールの側がボールを投げます。
- ⑤ 両チームがすべてのカラーボールを投げ終わった時点で1エンド終了となり得点をつけます。
- ⑥ 個人戦・ペア戦は4エンド、チーム戦は6エンド行います。2エンドは青、3エンドは赤、4エンドは青と、交互にジャックボールを投げてゲームを開始します。
- ⑦ すべてのエンドを終了した時点で赤・青の得点を計算し、勝敗を決めます。同点の場合は、ジャックボールをクロスに置いた状態からタイブレークを行います。

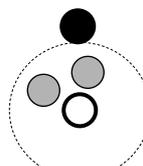
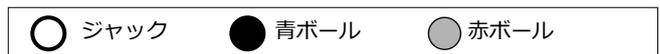
★コートについて

競技は、12.5m×6mのコートで行われます。選手は2.5m×1mのスローイングボックス内でプレイします。個人戦ではボックス③④（③が赤、④が青）、ペア戦ではボックス②～⑤（②④が赤、③⑤が青）、チーム戦ではボックス①～⑥（①③⑤が赤、②④⑥が青）を使用します。

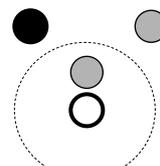


★得点の数え方

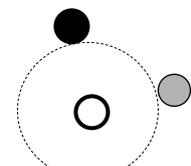
- ジャックボールに最も近い相手のカラーボールよりも近い位置にある自分のカラーボールがある場合、ボール1個につき1点が与えられる。
- ジャックボールから最も近い位置に、2個以上の異なる色のカラーボールが等距離にある場合、各ボールにつき1点が与えられる。



2対0で赤



1対0で赤



1対1でそれぞれに1点